

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年6月定例会】

健康で安心感のある暮らし						
分類	発言順	会派名	質問者	大項目	中項目	小項目
保健・医療	②	明日への風	藤岡 一弘	4 市民の健康を守る取組について	(1) 健康アプリの導入がもたらす効果等について	<p>ア) 本市では、市民の方々に気軽に楽しみながら運動に取り組んでもらうため、スマートフォンアプリ「みんなチャレ」を活用した健康アプリ「きりこちゃんチャレンジ」を導入したが、この導入によりどのような効果を期待するのか伺う。</p> <p>イ) 健康アプリ導入の目的の1つとして、健康寿命延伸や将来の医療費の抑制があるが、健康アプリの活用を通じて、どのように健康寿命延伸や将来の医療費の抑制を目指すのか伺う。</p> <p>ウ) 健康アプリの参加率をどのように高めていこうと考えているのか伺う。</p>
	⑦	三輝会	月橋 寿文	1 市立三次中央病院の持続可能な運営について	(1) 病院経営及び施設整備について	<p>ア) 病院建替計画の現在の検討状況と進捗状況について伺う。</p> <p>イ) 老朽化で危険な箇所の現状について伺う。</p> <p>ウ) 現在の経営状況の分析と、具体的な赤字改善策について伺う。</p> <p>エ) 病床稼働率の推移について伺う。</p> <p>オ) 紹介患者数の推移及び紹介患者数増加に向けての取組について伺う。</p> <p>カ) 地域医療連携の推進と市立三次中央病院の役割について伺う。</p>
					(2) 医療人材確保について	<p>ア) 人員充足状況と人員不足の影響について伺う。</p> <p>イ) 現在の薬剤師の配置状況の評価と、今後の薬剤師確保の取組について伺う。</p> <p>ウ) 現在の医師数に対する認識と、今後の医師確保の取組について伺う。</p>
					(3) 職員が安心して働ける職場環境づくりについて	<p>ア) 働きやすい職場環境づくりに向けた取組について伺う。</p> <p>イ) ハラスメント防止研修の実施状況と効果の検証について伺う。</p> <p>ウ) ハラスメント防止対策と相談体制の整備について伺う。</p> <p>エ) 外部専門家による第三者相談体制の整備について伺う。</p>

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年6月定例会】

保健・医療	⑦	三輝会	月橋 寿文	1 市立三次中央病院の持続可能な運営について	(4) 備北地域における地域医療連携について	ア) 備北メディカルネットワークのこれまでの成果の評価と、今後の活用方針について伺う。
						イ) 備北メディカルネットワークを活用した医療消耗品の共同購入について、現在の取組状況と効果、今後の拡充の考えについて伺う。
						ウ) 地域全体で標準的な薬剤使用方針を共有する「地域フォーミュラリ」の導入効果について伺う。
						エ) 市立三次中央病院を中心とした機動的な医師派遣体制の構築について伺う。
						オ) 医療DX推進による診療所との連携強化の取組について伺う。
						カ) 市が運営する診療所の今後の運営体制のあり方について伺う。
福祉	⑩	清友会	山村恵美子	3 第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画における発達障害児への支援について	(1) 本市の療育の進め方について	今年度は計画の最終年度である。障害者手帳取得に見る障害児の人口比推移にはほぼ変化が無いが、小学校においては特別支援学級の児童が増加しており、通常学級においても特別な支援が必要と見える児童が増加している。中学校においては特別支援学級に通う生徒数は減少しているが、通常学級で支援が必要な生徒数が増加している。これらのデータを踏まえて改めて療育の重要性が問われたと思うが、掲げられた成果目標6項目のどの項に反映されていたか伺う。
					(2) 子ども発達支援センターの現状について	ア) 本市が他市に先んじて独自の運営を開始した誇れる事業であるが、子ども発達支援センターの教室数、利用者ともに著しく減少している。保育所への巡回指導等も必要ではあるが、就学前の療育の質が小学校教育に大きく影響を及ぼすことが発達支援の専門家の共通認識である。また、発達支援センターは親の学びと実践へのサポートに大きく寄与している。社会生活において「できる」体験と自信を育むセンターでの療育を充実させるべきではないか。
多文化・共生				-	-	

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年6月定例会】

安全で快適な生活環境						
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目
自然環境				-	-	
生活基盤	①	明日への風	増田 誠宏	2 地域公共交通について	(1) 三次市地域公共交通計画（第2期）の持続可能性と今後の課題について	ア) 地域公共交通に対する財政負担をどのように捉えているのか伺う。
						イ) 周辺地域の公共交通をどのように維持していくのか伺う。
						ウ) 乗継利便性の向上にどのように取り組んでいくのか伺う。
						エ) 既存の輸送資源の活用をどのように進めていくのか伺う。
					(2) A I オンデマンドバス「のるーと三次」の利用促進について	ア) 利用状況をどのように評価しているのか伺う。
						イ) 利用促進に向けた課題をどのように認識しているのか伺う。
						ウ) 運行エリアのあり方をどのように考えているのか伺う。
						エ) 利用促進や周知をどのように進めていくのか伺う。
	②	明日への風	藤岡 一弘	1 J R芸備線の利用促進について	(1) 芸備線を活用する取組について	ア) 令和8年8月に開催される予定の「全国ローカル鉄道甲子園」で提案された意見を、どのような形で活かそうとしているのか伺う。
						イ) 一部区間の存廃や活用を話し合う再構築協議が最終年度に入った。これまでの議論や調査を踏まえて、本市としてどのような考えや方向性をもって最終年度の協議に参加する考えなのか伺う。
					ウ) 三次・安芸高田・広島まちづくり交通協議会が、令和6年5月に第1回協議会が開催され、これまで5回の協議が行われているが、進捗状況を伺う。	
					エ) 三次・安芸高田・広島まちづくり交通協議会の法定協議会への移行はいつになるのか計画を伺う。	
					オ) J R西日本が発表した「沿線のまちづくりを踏まえた 芸備線（三次駅～広島駅間）の機能強化策」には、地域住民の要望が強い快速の増発案や快速の増発を実現するための列車交換設備の新設案など、多くの強化策が盛り込まれているが、本市としてどのように受け止めているのか伺う。	

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年6月定例会】

生活基盤	②	明日への風	藤岡 一弘	1 JR芸備線の利用促進について	(1) 芸備線を活用する取組について	カ) 今後の芸備線に関する財政負担や利活用策にどのような考えを持って、まちづくり交通協議会に臨もうと考えているのか伺う。
	③	会派 未来	新田 真一	1 市が契約する貸切バスの安全確保について	(1) 市が運行を委託・契約するバスにおける安全確保の取組について	ア) 市が実施する全ての事業において、バスの運行業務を業者に委託・契約する際に、運行の安全確保への取組を考慮した業者選定を行っているか伺う。
	⑤	真正会	鈴木深由希	2 地域交通について	(1) A Iオンデマンドバス「のるーと三次」の運行システムの課題について	ア) 八次地区の住民の強い要望が運行に繋がったと聞かすが、三次市地域公共交通会議で出た、路線バス等が通っていない地域への導入の意見も反映されたのか伺う。
						イ) 障害者が利用する場合に、付き添いの介助者の運賃について、「くるん」の時は減免があったが、「のるーと三次」では免除が無いという声があった。その後、市では介助者の減免導入を検討され、システム改修を事業者へ依頼されたと聞かすが、進捗状況と市の見解を伺う。
						ア) 「のるーと三次」の運行は車を持たない方や高齢者、学生等に喜ばれていると思う。利用者の声に耳を傾け、コースの見直しを順次行っていただきたいが、市の見解を伺う。 イ) 議員と話そうで、市民から「のるーと三次」はなぜ中心市街地だけなのかとの声が多く聞かれたが、「のるーと三次」は市街地向き、郊外路線向きではないと市の回答にあった。それならば郊外路線向きの公共交通導入の検討が必要ではないか。「のるーと三次」の延伸が可能ならばその検討も希望するが、見解を伺う。
	⑩	清友会	重信 好範	2 空き家対策について	(3) 管理不全空き家の適切な管理について	ア) 「管理不全空き家」に該当する物件の基準と実態調査の進捗について伺う。
(4) 空き家対策及び利活用等に関する補助制度の現状について					ア) 現行の空き家関連補助制度の利用状況と今後の見直しについて伺う。	
防災減災・安全	⑤	真正会	鈴木深由希	1 防災について	(1) 三次市国土強靱化地域計画の具体化と地域防災への反映について	ア) 三次市地域防災計画は災害対策基本法で作成が義務づけられている。一般的に災害対策法が改正されると国から通達があると思うが、市に届いているか。また、どのような経路・形式で届くのか伺う。
						イ) 切迫した災害の危険から逃れるための「指定緊急避難場所」と、避難生活を送るための「避難所」の区別が明確になっているか、市民への周知をどのように捉えているか伺う。
						ウ) 「避難行動要支援者名簿」の作成はできており評価しているが、その管理、運用が各自防災組織でばらつきがあると認識している。本市が定める名簿情報提供について現状の課題を把握しているか伺う。
						エ) 「市の責務」と「住民の責務」について「防災」の考え方が明記されているが、「自助」「共助」「公助」等の基本理念の周知は十分できているか伺う。
						オ) 三次市地域防災会議の組織構成を伺う。
						カ) 今年度の三次市地域防災会議の開催、協議・確認した内容、「三次市地域防災計画」の見直しの有無を伺う。

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年6月定例会】

防災減災 ・安全	⑤	真正会	鈴木深由希	1 防災について	(1) 三次市国土強靱化地域計画の具体化と地域防災への反映について	キ) 三次市国土強靱化地域計画の「第3章強靱化の現状と課題」では、「リスクシナリオ」「9分野の個別施策分野設定」「脆弱性の評価」に分けて必要とすることが明記されている。脆弱性の評価に消防団、自主防災組織の役割についてあるが、これを市民に周知されて実行につながっているか伺う。
						ク) 「第4章推進すべき施策の方針」の「消防団の対応力の強化」「自主防災組織の取組」「避難情報等の伝達」「洪水対策施設の整備」について、それぞれ具体的な取組を伺う。
						ケ) 5月27日に実施された「三次市大規模災害想定訓練」の目的と具体的な訓練内容について伺う。
						コ) 国から管理を受託している排水樋門の管理について、毎年度、国との対応協議の機会を設けているか伺う。また、契約の中に、有事の際の対応、処理等の記録、国への報告の義務はないのか伺う。
						サ) あらためて自助・共助の意識の向上と平常時のコミュニティ、地域づくり強化について考えを伺う。
						シ) 新たな「防災気象情報」の運用が開始されたが、市としてどのように市民へ啓発されたか伺う。
	(2) 自主防災組織の課題について	ア) 自主防災組織のあるべき姿、より効果的な避難訓練の実施を住民自治組織の連合の会議でもっと検討できないものか伺う。				
		イ) 小中学校の防災教室のあり方について、講座依頼は教育委員会又は危機管理課から住民自治組織もしくは自主防災組織に入る仕組みか伺う。				
		ウ) 三次市地域防災計画の概要の最後に自主防災活動の推進の必要性が明記されているが、このことを周知する機会は設けられているのか伺う。				
	⑨	清友会	山田真一郎	2 安全・安心な本市の取組について	(1) 防犯灯の適正な維持管理と今後のあり方について	ア) 三次市LED防犯灯設置補助金の利用実績と普及状況について伺う。
						イ) 設置後の点灯状況および維持管理の現状について伺う。
						ウ) 消灯している防犯灯への対応と今後の管理体制について伺う。
⑩	清友会	重信 好範	2 空き家対策について	(1) 空き家における治安・防犯上のリスク認識について	ア) 空き家における空き巣被害等の発生状況と現状認識について伺う。	
					イ) 空き家もたらす地域社会への犯罪リスクとその懸念について伺う。	
				(2) 地域の防犯体制の現状と今後の取組について	ア) 空き家周辺における巡回等の防犯体制の現状について伺う。	
					イ) 空き家所有者に対する防犯意識の啓発および周知徹底について伺う。	

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年6月定例会】

防災減災 ・安全	⑩	清友会	重信 好範	2 空き家対策について	(5) 防犯カメラの設置促進と費用助成の拡充について	ア) 地域における公共防犯カメラの増設に向けた方針について伺う。
						イ) 所有者や地域住民による家庭用防犯カメラ設置に対する補助制度の創設について伺う。
	⑪	清友会	山村恵美子	1 安全・安心なまちづくりの取組について	(1) 犯罪・事故を未然に防ぐ取組について	ア) 匿名・流動型犯罪グループが全国各地で犯罪を犯している。行政としてより強固な防犯体制が必要と考えるが、本市の見解を伺う。
						イ) 犯罪に対する不安も増す中で、住民自治組織が、地域共創部所管のまちづくりの補助金を活用して町内に防犯カメラを設置された。このことについて市民から、地域振興のための補助事業に防犯のための予算を費やすことへの疑義があったが、市の見解を伺う。
					(2) 安全・安心なまちづくりに向けた事務分掌の明確化と適正化について	ア) 県内においても防犯カメラ設置に関する補助事業が進んでいる。安全安心のための取組として、危機管理監所管の予算として確保されるべきではないか、見解を伺う。

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年6月定例会】

子どもの未来応援							
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目	
子育て	①	明日への風	増田 誠宏	3 第3期三次市立保育所規模適正化基本方針について	(1) 第3期三次市立保育所規模適正化推進計画（後期）の策定について	ア) 後期計画をどのような考え方で策定していくのか伺う。	
						イ) 規模適正化が保護者の就労継続や子育て環境へ与える影響をどのように考えているのか伺う。	
						ウ) 規模適正化と将来のまちづくりをどのように考えているのか伺う。	
	⑩	清友会	重信 好範	3 こども誰でも通園制度について	(1) こども誰でも通園制度の現状について	ア) 7施設で始まった本制度の利用状況を伺う。	
						(2) 当制度の課題等について	ア) 本制度が始まって見えてきた課題の中でも、本市特有の課題について伺う。
						イ) 本制度の利用を増やすため、現在の7施設以外での施設増加について考えを伺う。	
ウ) 本市の課題である保育士不足に対して、今後人材確保にどう取り組むのか伺う。							
教育	①	明日への風	増田 誠宏	4 市立小中学校の再配置について	(1) 学校再配置の進捗と今後のスケジュールについて	ア) 再配置計画全体の進捗状況をどのように受け止めているのか伺う。	
						イ) 再配置計画に示された実施時期を今後どのように位置づけていくのか伺う。	
						ウ) 地域や保護者の不安解消に向け、教育委員会として庁内連携をどのように進めているのか伺う。	
	③	会派 未来	新田 真一	2 教育現場の働き方改革について	(1) 学校現場の超過勤務の現状と課題について	ア) 市内の学校教職員の超過勤務の現状と課題を問う。	
						イ) 持ち帰り業務等の実態調査について伺う。	
					(2) 「三次市立小・中学校の教師の勤務時間の上限に関する方針に係る取組内容」について	ア) 取組による成果と課題について伺う。	
						(3) 「三次市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」の策定と今後の取組について	ア) 実施計画において、業務を「学校以外が担うべき業務」「教員以外が積極的に参画すべき業務」「教員の業務だが、負担軽減を促進すべき業務」の3つに分けて取り組もうとしたのか、その理由を問う。
イ) 実施計画の中の地域学校協働活動推進員等が果たすべき役割について、また、部活動の地域への移行に向けた指導者確保の課題について伺う。							

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年6月定例会】

教育	③	会派 未来	新田 真一	3 三次市学びの多様化学校等の設置に係る検討会議について	(1) 検討会議の目的と委員選出の考え方について	ア) 委員選出の方針・基準について伺う。
						イ) 学びの多様化学校と小規模特認校の検討を同一の検討会議で行うことの妥当性について伺う。
					(2) 学びの多様化学校の特色について	ア) 学びの多様化学校と地域とのつながりについて伺う。
						イ) 具体的な教育課程・内容の決定方法について伺う。
						ウ) 入校検討会議においての具体的な入学判断基準や、定員超過した場合の対応、教員配置の決定方法について伺う。
					(3) 小規模特認校の設置の検討に係る課題について	ア) 検討会議での今後の取組について伺う。
	イ) 検討されるための内容・時間・予算の確保について伺う。					
	⑥	三輝会	藤井憲一郎	1 学校再配置計画における「三良坂中学校」に関する今後の取組等について	(1) 保護者、地域との協議について	ア) 三良坂中学校、小学校、保育所保護者との協議の進捗状況を伺う。
						イ) 新年度になってからの協議スケジュールはどのように考えているのか伺う。
					(2) 吉舎、甲奴地区との協議の状況について	ア) 児童数と未就学児の推移や出生率などが協議に含まれているのか伺う。
						イ) 再配置について、校舎の健全度が考慮されているのか伺う。
						ウ) 日彰館高等学校との連携についての考えがあるのか伺う。
(3) 小中一貫教育の総括について					ア) 「みらさか学園」は市内唯一の併設型小中一貫校である事が特徴であるが、その総括はされての計画なのか伺う。	
(4) 現状の視察を踏まえた「みらさか学園」に関する本市の見解について					ア) みらさか学園の通学班に市長が同行された際、小学校の生徒の多さに気付かれたと思うが、その子たちが2年後は吉舎中に通うことになる。再配置についてこのままでよいのか、市長としての思いを伺う。	
⑨					清友会	山田真一郎
	イ) コミュニティ・スクールの活動状況について伺う。					
	ウ) 学びの多様化学校の設置場所の考え方について伺う。					

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年6月定例会】

教育	⑨	清友会	山田真一郎	1 三次市における教育環境について	(1) 三次市立小中学校のあり方に関する基本方針と現状認識について	エ) 小規模特認校設置の進捗状況について伺う。
					(2) 小・中学校通学区域自由化制度と学校再配置計画への見解について	ア) 通学区域の自由化制度の目的について伺う。
						イ) 学校再配置計画の見直しの余地について伺う。
⑩	清友会	山村恵美子	3 第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画における発達障害児への支援について	(3) 多様な学びの選択について	ア) 就学時、学びの多様化学校や小規模特任校の設置により、一人ひとりに適した環境の選択をアドバイスする体制は構築するのか伺う。	

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年6月定例会】

豊かな心といきがい			氏名	大項目	中項目	小項目
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目
芸術・文化				-	-	
スポーツ				-	-	

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年6月定例会】

いきいきとした地域						
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目
定住・交流	⑦	三輝会	月橋 寿文	2 移住・定住対策について	(1) 集落支援員の取組について	ア) 集落支援員の活動成果と配置体制について伺う。
					(2) 空き家バンクの登録促進について	ア) 空き家バンクの登録促進の取組について伺う。
						イ) 成果連動型の支援制度の導入について伺う。
					(3) 市営住宅のリニューアル事業について	ア) 市営住宅のリニューアルを含めた住環境整備の方針について伺う。
	(4) 三次市公営住宅等長寿命化計画について	ア) 三次市公営住宅等長寿命化計画を今後どのような考え方で推進し、移住・定住の促進や地域活性化につながる住宅政策としてどのように展開していく考えか伺う。				
	⑪	清友会	山村恵美子	2 空き家対策について	(1) 空き家対策に係る人材確保について	ア) 三次市移住コーディネーターが不在となっているが、応募状況を伺う。
イ) 集落支援員の活動日数の制限と報酬についての考えを伺う。						
(2) 空き家のインターネットでの検索について					ア) 市のホームページでダイレクトに空き家バンク情報を検索できない。以前は三次市独自のものがあり、現在より手間が少なく使いやすいと感じていたが、なぜ変更されたのか伺う。	
住民自治	①	明日への風	増田 誠宏	4 市立小中学校の再配置について	(2) 学校再配置に伴う地域の将来像と対話のあり方について	ア) 学校再配置を地域の将来を考える対話の機会として捉え、議論を進める考えについて伺う。
						イ) 学校の存続や廃止に先立ち、地域の将来像を共に考える取組の必要性について伺う。
						ウ) 学校なき後の地域に対し、行政として主体的に向き合う姿勢と今後の対応について伺う。
						エ) 地域の将来に希望が持てるまちづくりをどのように進めていくのか伺う。
	⑤	真正会	鈴木深由希	3 行政情報の発信・伝達について	(2) 住民自治組織の役割について	ア) 住民自治組織に対して、情報伝達の方法や組織の役割について、行政が指導することも必要ではないかと考えるが、市の見解を伺う。

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年6月定例会】

活力ある産業						
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目
農林畜産	①	明日への風	増田 誠宏	1 中東情勢による地域経済や市民生活への影響について	(1) 本市への影響と対応について	イ) 農業者や中小事業者への影響をどのように把握しているのか伺う。
	④	公明党	中原 秀樹	2 熊出没情報の集約化と市民への迅速な情報提供について	(1) 三次市公式LINEを活用した熊目撃情報の通報体制について	ア) 熊目撃情報の一元的な集約・共有体制の構築について、本市はどのように考えているのか伺う。
						イ) 熊出没情報の地図化や可視化の有効性についてどのように認識しているのか伺う。
						ウ) 三次市公式LINEの機能を活用し、熊の目撃情報について写真や位置情報を添えて通報できる仕組みを構築する考えはないか。また、収集した情報を関係機関と共有するとともに、市民への迅速な注意喚起に活用する考えはないのか伺う。
	⑧	三輝会	横光 春市	3 本市の農業振興について	(1) 今後の農業振興における課題について	ア) 「三次市小規模水稻生産者機械購入支援事業補助金」の申請状況について問う。
						イ) 5ha未満の耕作者がトラクター、田植機、コンバイン等を更新する際に、1回は助成が受けられるような柔軟な制度設計をすべきと考える。執行部の所見を伺う。
						ウ) 「中山間地域等直接支払交付金」について、市町村の認定があれば傾斜なしでも支援が可能となる制度の見直しを日本農業新聞で報じられている。本市において同要件が適用された場合、どの程度の想定対象面積となるか見解を伺う。
						エ) 中山間地域直接支払交付金の申請事務や実績報告の手続きは、現場の実態として煩雑であり、これが制度活用の障壁となっている。現場の負担を軽減するため、国へ事務の簡素化を働きかけるべきと考えるが、市の考えを伺う。
						オ) 中国新聞で、県内の集落法人の4割強が5年以内に存続の危機に瀕するという調査結果が報じられた。農業の担い手が先細る中、本市における現状をどのように分析しているか。
						カ) 米の価格の早期決定及び仕組みの改善を市として国へ働きかけるべきと考えるが、所見を伺う。
キ) 令和8年3月定例会で採択した「中山間地域の持続可能な農業の確立に向けた取組を求める意見書」の趣旨を踏まえ、地方の声を国に届けるためにも、市単独の要望にとどまらず、県市長会等を通じて連携し、国へ要望書を提出する等の働きかけを行うべきと考えるが、所見を伺う。						
⑩	清友会	山村恵美子	1 安全・安心なまちづくりの取組について	(3) 市有林の安全管理について	ア) 造林事業等の対象ではない市有林が、民有地や建物、道路等へ悪影響を及ぼしているケースがあると認識しているが、伐採等の安全管理を計画的に実施できているのか伺う。	
商工	①	明日への風	増田 誠宏	1 中東情勢による地域経済や市民生活への影響について	(1) 本市への影響と対応について	ア) 本市への影響をどのように認識しているのか伺う。

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年6月定例会】

観光	②	明日への風	藤岡 一弘	2 本市の観光について	(1) 本市の観光戦略の取組について	ア) 第2次観光戦略では「稼ぐ観光」を掲げているが、その成果をどの指標で検証していくのか。また目標未達の場合はどのように施策を見直していくのか伺う。
						イ) 第2次観光戦略の中で、取組むべき課題として、市内外の関係機関との連携強化があげられているが、具体的にどこの自治体と、どのような分野で、どのような成果目標を持って連携を進めていく考えか伺う。
						ウ) 近隣自治体との連携強化について、本市として今後どのような展望を持っているのか伺う。
					(2) 宿泊税の活用について	ア) 令和8年度の宿泊税を財源とした観光施策について、事業目的とその効果をどのように考えて設定されたのか伺う。
						イ) 来年度以降の宿泊税を財源とした観光施策をどう考えていくのか。使い道の方向性をどのように検討していくのか伺う。
						ウ) 他市町と連携した、広域的な視点での観光施策の実施を検討すべきではないかと提案をするが、所見を伺う。
	⑥	三輝会	藤井憲一郎	2 三次市観光大使「宗山壘選手」のプロモーション戦略の考え方について	(1) 楽天野球団とのイベント交渉について	ア) 楽天モバイル最強パークにて、昨年は「観光大使就任及び関連イベント」が催されたが、今年の実施の予定について伺う。
						イ) 今後のプロモーション方法について、具体的な考えがあるのか伺う。
						ウ) 楽天ファンを関係人口に変える取組は考えているのか伺う。
						エ) DMOとの間で、観光大使の活用について協議はされているのか伺う。
(2) 楽天野球団スポンサーシップについて					ア) 「楽天野球団スポンサーシップ」制度について、本市の把握状況を伺う。	
					イ) 楽天野球団とのスポンサーシップ協定は本市の観光PRやブランド発信に大きなメリットがあると思うが、これまでに検討はされているのか伺う。	

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年6月定例会】

その他						
分類	発言順	会派名	氏名	大項目	中項目	小項目
その他	①	明日への風	増田 誠宏	1 中東情勢による地域経済や市民生活への影響について	(1) 本市への影響と対応について	ア) 本市への影響をどのように認識しているのか伺う。
						ウ) 影響を受ける事業者や市民への支援をどのように考えているのか伺う。
						エ) 市民生活を支える本市の事業への影響をどのように認識しているのか伺う。
	②	明日への風	藤岡 一弘	3 大学との連携について	(1) 大学連携の効果について	ア) 本市では複数の大学と包括連携協定を結んでいるが、どのような効果を期待して協定を結んでいるのか伺う。
						イ) 大学との包括連携協定について、実際にどのような成果がでていると検証しているのか伺う。
						ウ) これまでの大学との共同研究や取組が、本市の政策形成にどう生かされているのか伺う。
					(2) 大学連携を活かした今後の取組について	ア) 大学の研究や学生の行動力を活用した共同研究・実証事業や市民・大学共同講座を新たに展開する考えはないか伺う。
	④	公明党	中原 秀樹	1 三次市公共施設等総合管理計画を踏まえた指定管理施設の維持可能な運営について	(1) 指定管理施設の経営状況と課題について	ア) 指定管理施設の収支決算書では、施設ごとの利用状況や収益性、年間の利用者数は元より、収入合計額と支出合計額の差額について注視すべき内容であると理解している。指定管理料の12分の1以上の過不足が発生した理由も含めた指定管理施設の運営状況についてどのように分析し、精査されているのか伺う。
						イ) 近年は人件費、電気代、燃料費、修繕費の高騰により指定管理施設の経営負担が増加していることで、運営が厳しい施設があるように見受けられる。本市としては、こうした社会情勢の変化にどのような対応をなされているのか。急激な物価上昇時の追加支援の考え方について伺う。
						ウ) 利用者の減少や施設の老朽化、故障の頻発化や、将来的な維持管理コストが懸念されている施設も見受けられる。今後、指定管理者を取り巻く経営環境が厳しくなっていく中で、非公営施設において現在の指定管理者が撤退した場合、本市に与える影響は大きいと考えるが、継続性確保の取組について伺う。
					(2) 指定管理施設の評価と経営改善について	ア) 指定管理施設の収支状況や利用実績、また市民サービスの質や地域貢献度など、市はどのような指標を用いて指定管理者の運営を評価し次期管理者選定や管理料の算定を決定されているのか伺う。
						イ) 赤字経営が継続している施設について、市は原因分析をどのように行い、これまでの利用促進対策や運営改善対策の実施状況をどのように検証しているのか。あわせて、経営改善に向けた指導や支援を行うための協議体制の現状について伺う。
ウ) 指定管理者が複数施設を一括して運営している場合、決算上では黒字または収支均衡の場合でも、赤字施設を補填しているケースもあり、個別施設ごとの経営実態や課題が決算書では見えにくいことが懸念される。市として施設単位での収支状況をどのように把握、分析されているのか伺う。						
				エ) 今後、指定管理者が、選定に至らない状況が発生した場合の市の対応について伺う。		
				(3) 湯浴施設の持続可能な運営について	ア) 近年、湯浴施設では設備の故障や老朽化に伴う修繕費、維持管理費が増加しており、指定管理の経営負担が大きくなっている。現在の指定管理料が実態に即した水準であると認識しているのか。また、物価高騰や設備更新増加を踏まえて、指定管理料の見直しの必要性についてどのように考えているのか伺う。	

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年6月定例会】

その他	④	公明党	中原 秀樹	1 三次市公共施設等総合管理計画を踏まえた指定管理施設の維持可能な運営について	(3) 湯浴施設の持続可能な運営について	イ) 利用料金収入は湯浴施設の運営を支える重要な財源であるが、物価高騰や維持管理費の増加が続く中、現行の料金体系や年間パスポート制度が施設運営の実態に即したものととなっているのか。また、利用実績や収支への影響を検証した上で、持続可能な施設運営に向けて年間パスポート制度を含めた料金体系の見直しを検討する考えはないのか。
						ウ) 湯浴施設の維持管理に係る設備修繕費について、特に循環や衛生管理などの水質管理設備に関しては多額の予算が必要になるケースがあるため、計画性を持って整備することで、利用者の安全性と営業の継続性が保たれるのではないか。市の考えを伺う。
						エ) 湯浴施設は、観光振興や地域経済への波及効果を有するとともに、地域住民の憩いの場としても重要な役割を果たしている。施設の老朽化や運営コストの増加が課題となる中、市はこれらの施設を今後どのように位置付け、持続可能な運営に向けて支援を行っていく考えなのか。
				3 資材高騰及び資材不足が公共事業に与える影響と今後の対応について	(1) 公共事業への影響と対応について	ア) 建設資材や燃料価格の高騰、資材不足に加え、建設業における担い手不足の影響により、市発注工事において工期延長や入札不調、不落案件が発生していると考えが、その発生状況をどのように把握しているのか、また、こうした状況が今後さらに進行した場合、公共事業の執行や市民サービスにどのような影響が生じると分析しているのか、市の認識を伺う。
						イ) 資材価格の高騰や人手不足が長期化する中、道路整備、施設改修、上下水道施設の更新など、市民生活に直結する事業について、市はどのような基準で優先順位を判断しているのか、また、事業の先送りや縮小による安全性や利便性への影響について、どのように考えているのか。
						ウ) 当初予算編成時と比較して、資材価格等の上昇により事業費が増加しようとしている工事について、市は設計単価や事業費の見直しをどのように行っているのか、また、今後も資材価格の高騰が継続した場合、公共施設整備やインフラ更新計画の見直しが必要になると考えるが、市の財政運営への影響と今後の対応方針について伺う。
			エ) 近年の資材高騰や担い手不足は一時的な問題ではなく、今後も継続する可能性があると考えている。こうした状況の中で、市内建設事業者が安定的に公共工事を受注し、地域インフラの維持や災害対応を担っていくため、市としてどのような支援や環境整備を行っていく考えなのか。			
	⑤	真正会	鈴木深由希	3 行政情報の発信・伝達について	(1) 情報発信の方法について	ア) 行政からの情報発信も、紙媒体だけの時代から、WEB等様々な形で発信されるようになった。市が活用している情報発信ツールの現状を伺う。
						イ) 行政が発信する時一方通行になりがちである。万人に確実に伝わる必要がある事柄や個人に確実に必要な情報など、確実に伝える工夫があるのではないか。例えば「のるーと三次」や「防災情報」は丁寧に確実な情報提供が求められる。高齢者等の市広報が読みにくい方や外出が難しい方は、民生委員等へ情報の周知をお願いすることはできないか。
						ウ) 一例をあげると、三次市出身のタコつぼ漁を広めた中村さんの絵本が図書館、学校、住民自治組織等に配られたが、発行部数に限りがあるため、多くの方に読んでほしいと考えた方は常会へ閲覧板で回したと伺った。このように住民自治組織に各地域での回覧をお願いすることができれば、重要な情報の到達度をあげることができる。行政から住民自治組織への協力依頼等の働きかけはできないか。
						エ) 「三次市まち・ゆめ基本条例」や「防災計画」、「避難情報」等、市民に特に知っていただきたい情報について、公共施設だけでなく民間施設へも協力していただき周知することはできないか。例えばエレベーターや休憩スペースの壁に、条例の条文をポップなデザインで掲示する等、単純接触効果と親しみやすさを組み合わせた広報の工夫を検討してはどうか。
	⑥	三輝会	藤井憲一郎	3 「みよしなるほど！出前講座」について	(1) 「みよしなるほど！出前講座」の実施状況と今後の運用について	ア) メニューの選定基準を伺う。
イ) テーマの固定化を防ぐ、メニュー見直しの基準や頻度を伺う。						
ウ) 市民への周知方法について伺う。						

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年6月定例会】

その他	⑥	三輝会	藤井憲一郎	3 「みよしなるほど！出前講座」について	(1) 「みよしなるほど！出前講座」の実施状況と今後の運用について	エ) 参加しやすい人気テーマに申し込みが集中する事により、準備や移動時間などで特定の部署に過度な負担が発生していないか、現状と対応策について伺う
						オ) 直近2年間の開催状況について伺う。
	⑧	三輝会	横光 春市	1 本市の財政について	(1) 市税の収納状況と取組について	ア) 数年間の市税の差し押さえ状況について伺う。
						イ) 収入未済額は滞納繰越分として次の年度以降に収納されるよう努力されているところだが、決算書を見ると滞納繰越分の隣に記載の不納欠損額の項目がある。この不納欠損額が最終的に納付されなかった金額と理解して良いか伺う。
						ウ) 現年課税分の中にも不納欠損額を計上されている。不納欠損額とするには決断が早いように思えるが、どのような事情があるのか。現年課税分、滞納繰越分とも同じような根拠に基づいて不納欠損としているのか。不納欠損額の根拠を伺う。
					(2) 国民健康保険税の収納状況と取組について	ア) 国民健康保険税の収納率が88.81%～88.92%で推移している。市税に比べて約9%も低い、なぜ収納率が低いのか伺う。
						イ) 市税に比べて国民健康保険税の不納欠損額が多いのはなぜか。国民健康保険加入者の収入、所得に比して保険税が高額なのではないか。不納欠損額が多い要因を伺う。
						ウ) 令和5年度、令和6年度決算において、一般被保険者第三者納付金の収入未済額が計上されているが、これらの現在の納付状況について伺う。
	(3) 基金の在りようについて	ア) 決算書の基金合計残高が減少に転じているが、理由を伺う。				
		イ) 決算書の基金残高と財政計画に計上している基金残高が大きく異なるが、なぜ差異があるのか伺う。				
			2 本市の各種計画について	(1) 実施計画と財政計画について財政計画の課題について	ア) 人口減少が続く中、農業や中小企業・小規模事業者の方に活力を与える事業計画は出来なかったのか伺う。	
					イ) 特別交付税の予算額、財政計画計上額と実際に交付された決算額が乖離している。どのような考え方で実績と乖離した額が計上されているのか伺う。	
				(2) 過疎地域持続的発展計画後期計画に係る疑問点について	ア) 計画にある「地域の持続的発展の基本目標」で、令和12年の目標値が「おおむね均衡」となっているが、この目標値は具体的にどのような状態をめざすのか。	
					イ) 過疎地域持続的発展計画には、「2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成」において「その対策」として、「定住者のニーズに応じた空き家や公営住宅などの改修、公園や広場などの生活基盤の整備により、便利で魅力ある生活の場づくりを進めて、定住の促進を図る」とあるが、実施計画では公営住宅の文言は見当たらない。市中心部だけでなく、支所管内の市営住宅こそ積極的に改修や改築を行い、住環境を整えるべきと考えるが、執行部の所見を伺う。	
⑩	清友会	重信 好範	1 第51回衆議院議員総選挙の総括について	(1) 急遽決定した選挙に伴う事務準備の課題と対応について	ア) 今年2月に行われた総選挙では1月23日解散、2月8日投開票という急遽な選挙になったが、事務準備等の混乱はなかったのか伺う。	
					イ) 投票所入場券の早期発送に向けた課題と遅延防止策を伺う。	

みよし未来共創ビジョン（第3次三次市総合計画）体系別通告項目一覧 【令和8年6月定例会】

その他	⑩	清友会	重信 好範	1 第51回衆議院議員総選挙の総括について	(1) 急遽決定した選挙に伴う事務準備の課題と対応について	ウ) 投票所の確保と環境整備における課題を伺う。
						エ) 投票立会人の確保と改善点を伺う。
					(2) 期日前投票所の設置及び運営と更なる活用について	ア) 巡回型期日前投票所の運用実績と今後の展開について伺う。
						イ) 若年層の投票率向上に向けた高校への期日前巡回投票所の設置について伺う。
					(3) 不在者投票・郵便投票の利用促進と負担軽減について	ア) 一般有権者に対する不在者投票および郵便投票の周知と推進について伺う。
						イ) 福祉施設や病院等における不在者投票の負担軽減について伺う。
					(4) 投票結果の検証と今後の展望について	ア) 投票率の推移と要因の分析について伺う。
						イ) 次期選挙における円滑な事務執行に向けた今後の対応策について伺う。